



2008年 6月 第3週

週間ニュース

vol.194 2007.06.17 tue



岩手・宮城内陸地震に驚きました。その地域には、知人友人が沢山います。

栗駒山は、ブナなどの落葉の広葉樹が美しい山です。この時期は、新緑から初夏を迎え、緑が豊かな景色が楽しめます。友人たちとは連絡が取れ、皆無事でした。

被災され、犠牲になられた方々を想うと心が痛みます。これほど天変地異が続くのはどうしてでしょう？要因は様々云われますが、大規模な変動の兆しなのでしょうか。

15日(日)赤米・黒米・緑米の田植えをしました。雨風の中、大人も子どもも頑張りました(写真)。これで、今年の田植えは



終わります。これからは、水管理や草取りなど、きつくて楽しい作業が沢山あります。今年の赤米・黒米は、高温に強い品種にかえています。どんな出来になるか楽しみです。11月収穫です。



〒807-0081 福岡県北九州市八幡西区小嶺3-16-8  
tel 093-612-2647 fax 093-612-2653  
http://nomi-farm.com mail: nomi1@orange.ocn.ne.jp



ブロッコリー・・・やっと我が家の無農薬ブロッコリーが収穫できました。途中、手作業で虫取りを6回やり、朝夕の低温もあって、順調に生育し、今回のお届けに、丁度良いなと思っていました。

ところが、梅雨入りと、この大雨で、ブロッコリーの頂に黄色く変色が出始めました。原因はよく分かりませんが、切り開いてみると、ヨトウ虫やアオムシが住み着いていました。そして、頂近くの茎を食べていました。そのために変色したのでしょうか？雨があたりにくいブロッコリーの内側に、虫たちが逃げ込んだのでしょね。食害された部分を外して調理してください。



横の写真は、ビワです。遅い梅雨入りのおかげで、甘く熟れました。ところが、完熟とともにカラスたちに食べられてしまいました。美味しいんですね！



## トマト ナス科

今年のはじめてのトマトです。野菜の姿は、どれも美しいのですが、若々しいトマトの花や葉や実に見とれてしまいます。トマトは、説明を必要としないほど、最も知られ、最もよく食べられている野菜の一つです。ところで、トマトを一番沢山食べる国はどこでしょう？イタリア！？2004年のデータです。ギリシャが1人当たり年間130kgでトップ。イタリアは75kgで6位。日本は10kg、意外と少ないですね。トマトの栄養素リコピンは、オリーブオイルと一緒に摂ると吸収が良いそうです。だから我が家では、生の他に、トマトソースにしてパスタをよく食べます。年中食べられるように、只今、トマトピューレ作りに熱中！ニンニクも出来てます！

**徒話** 大分・湯布院の友人と、この数年、山ブドウにとりつかれています。九州各地にあるガネブと呼ばれるエビヅルや三角ヅルを集めています。九州には本格的な山ブドウがありません。そこで、北海道から研修に来ていた石川くんに北海道のものを送っていただき、3年間育成してきました。今年初めて実をつけました。雌雄異株です。山ブドウ酒が夢ですが・・・



### 赤米の草取り日程

7月26日、8月？日、9月6日  
午前9時、若松区竹並の重住農園

らきょうの収穫とらきょう漬講座

No1: 6月19日(木) 収穫と塩漬けまで

No2: 6月22日(日) 収穫作業、らきょう本漬け作業  
両日とも午前10時から 参加費1000円 弁当持参



### クール便でお届けします

生産者	野菜 無 - 無農薬 / 減 - 減農薬	下から5品目
のうみ	ブロッコリー 無 / 青ジソ 無 or ビーマン 無 /	
しげずみ	トマト 減 / リーフレタス 無 / 青ジソ 無 /	
ふかまち	きゅうり 減 /	

まだまだ野菜が少ないです。なんとか野菜が揃いました。

お願い、クール便でお届けしていますが、届いたらすぐに冷蔵庫に入れてください。一度冷やしているため、そのままでは痛みがはやくあります。

リーフレタス・・・この時期、葉物野菜を育てるのは、大変に難しいです。その中であって、レタス類は比較的虫にも強く、作りやすい野菜です。成長が早いので、収穫は短期間です。

青ジソ・・・夏にはなくてはならない野菜です。虫たちの大好物の野菜でもあります。農薬使用の多い野菜ですから、量販店のものは注意しましょう。今回お届けのものは、もちろん無農薬です。

きゅうり・・・低温や日照不足に敏感なウリです。今年は不作と想います。農園では、次の植え付け(真夏穫り)の準備をしています。